



収穫後の次年度に向けての取組み!

●多年生雑草の防除

防除のポイント

近年、圃場に多発している多年生雑草のオモダカ、クログワイですが、稲刈後も生育を続け、地中で塊茎を形成し肥大させることで翌年の発生源となります。このような難防除雑草を減らすためには、本田で効果のある除草剤の散布に加え、収穫後に塊茎を減らす対策を行います。



オモダカ

クログワイ

対策①「秋耕し」

塊茎は乾燥や寒さに弱いため、秋耕しをして地中にあった塊茎を地上に出して枯らします。完全に無くなるわけではありませんが、翌年の塊茎の発生量を減らすことができます。

対策②「刈跡除草剤散布」

収穫後、茎葉から根まで浸透移行して地下部まで枯らすことのできる除草剤(ラウンドアップ)の散布をします。塊茎を肥大させず枯らすことができれば、翌年の発生量を減らすことができます。

●土壌改良資材の散布

土壌改良資材の 効果

アルカリ補給効果

リン酸補給効果

ケイ酸補給効果

分解促進

pHの上昇

カドミウムの
吸収抑制効果

生育促進
窒素吸収量の促進
草型改善
根量確保
秋落ち軽減

硫化水素・有機酸の減少
による根活力向上

病害虫に
強くなる!

倒伏軽減

受光態勢がよくなり、
光合成が盛んになります。

JALレーク伊吹の土づくり資材
田華の豊稲の粒状(左)と砂状(右)



基準施用量

60kg~100kg/10a
(圃場の土壌pHに応じて
施肥量を調整して下さい。)

詳しくは、宮農担当者まで
お問い合わせ下さい!!

品質向上と 安定生産を 目指す!!

●特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」に注意!



ナガエツルノゲイトウ

当管内でも
確認されて
います。



根

南米原産で繁殖力がすさまじく、早期発見、早期駆除が重要な植物です。

生きたまま移動させることは、外来生物法で禁止されています。

発見された場合は下記まで連絡を!
宮農企画課…………… tel.63-2101
湖北農業農村振興事務所農産普及課 tel.65-6630